

## 1 . TEPCO 環境行動レポート 2003 の特徴

### (1) 原子力不祥事の再発防止に関する「特集」の掲載

「原子力不祥事の再発防止への取り組み」に関して、レポートの冒頭で「皆さまへの4つの約束」について「特集」を組み、不祥事の概要や再発防止策の概要などについてご報告いたしております。

- ・ 第1の約束：情報公開と透明性の確保
- ・ 第2の約束：業務の的確な遂行に向けた環境整備
- ・ 第3の約束：原子力部門の社内監査の強化と企業風土の改革
- ・ 第4の約束：企業倫理遵守の徹底

### (2) 当社にかかわる方々とのコミュニケーションの体系的な紹介

お客さま、株主・投資家、地域社会の皆さまをはじめ当社にかかわる方々(いわゆるステークホルダー)との間のコミュニケーション活動の状況について、対象を11に分類して体系的に紹介いたしております。

(注) 11分類：お客さま，株主・投資家，地域社会，政府・自治体，教育機関，未来を担う世代，NGO，取引先，マスメディア，社員，海外

### (3) レポートのスリム化と情報提供ツールの多様化

レポートの構成を年度の実績報告を中心とした内容にするるとともに、従来、環境関連トピックスや諸データ等を記載していた資料編など一部の情報を、ホームページ内の「インターネット版環境行動レポート」へ移行することなどによりスリム化(129 85 頁)を図りました。また、当社の環境保全への取り組みを平易に解説するパンフレット「TEPCO 環境ハイライト 2003」を新たに作成するなど、目的に応じた情報開示ツールの多様化を図っています。

### (4) 第三者機関による検証の導入

環境行動レポートの信頼性を担保するために、環境指標の算定プロセスとデータの妥当性に関し、第三者機関である「新日本環境品質研究所」による検証を新たに導入しました。

### (5) レポート製作時の環境負荷低減

印刷・製本にあたり、世界的な森林認証組織(FSC)の認証を受けた「持続可能な森」で生産されたパルプに古紙パルプを混合した用紙のほか、環境負荷の少ない再生植物油インキを用いた水なし印刷を新たに採用するなど、これまで以上に環境負荷に配慮した報告書の作成に努めました。